

# 胃内視鏡検査 同意書

## 【胃内視鏡検査について】

内視鏡を経口あるいは経鼻的に挿入し、咽喉頭、食道・胃十二指腸の各部を詳しく観察する検査です。のどや鼻の中に麻酔をします。検査時間は5-10分前後です。必要時、組織検査を行います。

## 【偶発症】

- ① 組織検査後の出血： 稀ではありますが、帰宅後に黒色便が続けばご連絡ください。
- ② アレルギー・鎮静剤によるもの：注射部の血管痛／薬疹／ショック／呼吸抑制等。  
※全国集計では偶発症は0.005%（日本消化器内視鏡学会 全国調査 2003～2007年）との報告があります。
- ③ 経鼻内視鏡後の鼻出血： 内視鏡にて鼻粘膜をこすするため、出血が生じることがあります。  
※これらの予期せぬ偶発症は稀ではありますが、場合により入院になることもございます。  
ご理解の程、宜しく申し上げます。

## 【麻酔（鎮静剤と鎮痛剤）を使用した経口胃内視鏡】

- ① 「オエッ」となりやすい為、鎮静剤の使用をお勧めします。
- ② 鎮静剤にてねむたい状態となり、リラックスして検査を受けられます。
- ③ 安全性を高めるため、呼吸・心拍モニターを装着します。  
※検査後、リカバリールームで1時間ほどお休みしていただきます。また、鎮静剤は判断力の低下、ふらつき、  
転倒の危険性が高まります。検査当日のお車の運転、機械操作・高所作業等は出来ません。

## 【経鼻内視鏡】

- ① 鼻粘膜をこすするため、鼻出血や痛みが生じることがあります。
- ② 鼻炎や鼻腔の形態により、スコープ通過時に痛みや出血などが予想される場合は、経口挿入に切り替える場合があります。
- ③ 麻酔（鎮静剤と鎮痛剤）を使用しないので、判断力（お車の運転など）に影響しません。

## 【胃内視鏡の方法について】

- 経口法（麻酔について：使用する    相談して決める    使用しない）  
経鼻法

## 【I&T 胃腸と脳のクリニック 院長殿】

上記内容の説明を受け、質問する機会を得て、内容を理解しましたので、胃内視鏡検査の実施に同意いたします。なお、上記の医療を行う上で必要な処置において予期されない状況が発生した場合は、それに対処する緊急処置を受けることも併せて同意します。

年 月 日

患者様または親権者様の署名： \_\_\_\_\_